中国・四国地方

名前

問1　高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため
2. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
3. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため
4. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため

問2　愛媛県南西部の坂下津から戎ヶ鼻にかけてのように、リアス海岸が広がる地域では海岸のすぐ近くまで山が迫っています。このような地形的制約がある中で、この地域の斜面で広く行われている農業の特色について述べたものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 土砂が堆積してできた平坦な土地を利用して、大規模な機械化による小麦の栽培が行われている。
2. 冷涼な気候を活かし、山の斜面を牧草地として利用した乳牛の放牧が行われている。
3. 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。
4. 海岸沿いに広がる砂丘を利用して、スプリンクラーを用いたらっきょうやスイカの栽培が行われている。

問3　広島市は、札幌市、仙台市、福岡市などと同様に「地方中枢都市」と呼ばれます。広島市がこのような役割を担うようになった背景として、その都市機能の仕組みを説明した文としてふさわしいものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 中国山地と四国山地に挟まれた交通の便を活かし、周辺のすべての県庁所在地を統合した行政区となっているから。
2. 広島県内における農業、工業、商業のすべての産業において、県全体の生産額の過半数を占めているから。
3. 県単位の枠組みを超え、中国・四国地方という広い範囲を管轄する行政や経済の窓口となっているから。
4. 瀬戸内海沿岸の工業地帯において、原材料の輸入と製品の輸出を管理する貿易の独占拠点となっているから。

問4　岡山県から四国側への自動車による到達圏域の変化を調べた調査において、1985年時点と比較して、2011年時点では四国側のより広範囲の地域へ短時間で到達できるようになっています。このような変化が生じた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 瀬戸内海沿岸の埋め立てが進み、四国との間の海上の距離が物理的に短くなったため。
2. 1988年に青函トンネルが開通し、全国的な高速道路網の整備が完了したため。
3. 1998年に明石海峡大橋が開通し、徳島県から岡山県への移動が容易になったため。
4. 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。

問5　四国地方の南部に位置する高知県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かした農業が盛んです。四国の各県の農産物収穫量を比較した統計において、高知県が約3万9000トンという数値を記録し、四国地方で最大の収穫量を誇る農作物はどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. 小麦
2. なす
3. レタス
4. みかん

問6　島根県の工業構造について、製造品出荷額の統計資料から読み取れる背景や特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）

1. 阪神工業地帯の一角を担う地域として、大規模な石油化学コンビナートが沿岸部に形成されている。
2. 歴史的な背景に由来する鉄鋼業が、県全体の製造品出荷額において主要な産業の一つとなっている。
3. 高速道路網の整備により、大消費地に供給するための食料品工業が製造品出荷額の第1位となっている。
4. シリコンアイランドと呼ばれるような、大規模な半導体工場を中心とした工業集積が見られる。

問7　瀬戸内海を挟むように位置する2つの山地について、北側の中国地方に連なる山地と、南側の四国地方の中央部を走る山地の名称を正しく組み合わせたものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 北側：筑紫山地、南側：九州山地
2. 北側：中国山地、南側：四国山地
3. 北側：四国山地、南側：中国山地
4. 北側：飛騨山脈、南側：木曽山脈

問8　日本の農業において、農家の経営改善を目的に栽培品目の転換が行われることがあります。ある地域での統計によると、レモンは1kgあたりの平均価格が約439円、10アールあたりの生産量が3200kgである一方、労働時間は123時間となっています。これに対し、みかんは平均価格が223円で労働時間は199時間、不知火（しらぬい）は平均価格が344円で労働時間は202時間となっています。これらの数値を比較した際、レモンを導入する利点として最も適切な説明はどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 不知火よりも労働時間が多く必要とされるが、生産量と平均価格のバランスが良いため、売上額を最大化できる点。
2. みかんよりも1kgあたりの平均価格は低いものの、労働時間が大幅に短縮されているため、人件費を抑えた経営ができる点。
3. 1kgあたりの平均価格は他のかんきつ類と同程度だが、生産量が圧倒的に多いため、大量出荷による市場独占が狙える点。
4. 他の品目と比較して、平均価格が高いだけでなく生産量も多いため、少ない労働時間で高い収益が期待できる点。

問9　日本の諸地域の気候を比較した統計資料において、石川県金沢市のように冬の降水量が多い日本海側の気候や、静岡県浜松市のように夏の降水量が多い太平洋側の気候に対し、愛媛県松山市などの瀬戸内地方で見られる降水量の特徴として最も適切なものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）

1. 梅雨や台風の影響を非常に強く受けるため、夏から秋にかけての降水量が2000mmを超える。
2. 一年を通じて各月の降水量が概ね100mm前後で推移し、他の地域に比べて年間の総降水量が少ない。
3. 一年を通じて気温の変化が激しく、夏は雨が非常に多いが冬は全く雨が降らない。
4. 冬の北西の季節風の影響を強く受けるため、12月から2月にかけての降水量が一年で最も多い。

問10　ある県の農業産出額の内訳をみると、総額約4409億円のうち、野菜が約1611億円と最も大きな割合を占めており、次いで畜産が約1340億円となっています。一方で果実は約111億円にとどまっています。この統計が示す高知県の農業的特徴について、正しい説明はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 大都市に近い立地を活かしてコマツナなどの鮮度が重要な野菜を生産し、産出額を高めている
2. 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている
3. 広大な平野を利用した大規模な機械化により、米を主産物として野菜と組み合わせている
4. 高冷地の冷涼な気候を活かしてレタスなどの収穫時期を遅らせることで、野菜の産出額を高めている

問11　岡山県やくらしき市、山口県周南市などの瀬戸内海沿岸部には、多くの石油化学コンビナートが立地しています。これらの工場群が、内陸部ではなくあえて臨海部に集中している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 製品の冷却に大量の淡水が必要なため、大きな河川の河口付近に工場を建てる必要があるから
2. 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから
3. 主要な消費地である東京や大阪などの大都市に隣接しており、高速道路網による陸上輸送に有利だから
4. 周辺の山地で採掘される石炭や鉄鉱石を、短い距離で工場へ運び込むことができるから

答え合わせ・解説

問1	答え 1 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため	高知県は黒潮（日本海流）の影響で冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「促成栽培」によって、本来の収穫時期よりも早い冬から春になすを出荷しています。市場では供給が減るこの時期に卸売価格が高騰するため、そのタイミングを狙って出荷することで、農業経営の安定と高収益化を実現しています。
問2	答え 3 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。	リアス海岸付近は平地が非常に少ないため、人々は山が海に落ち込む急斜面を切り拓いて段々畑を作り、土地を有効活用してきました。温暖な気候に加え、海からの反射光や水はけの良さが果樹栽培に適しているため、みかんを中心としたかんきつ類の栽培（果樹園）が盛んです。地形図においても、海岸線から山側にかけて果樹園の地図記号が密集している様子が見て取れます。
問3	答え 3 県単位の枠組みを超え、中国・四国地方という広い範囲を管轄する行政や経済の窓口となっているから。	地方中枢都市の大きな特徴は、一つの県にとどまらず、複数の県にまたがる広い地域（地方ブロック）の拠点となっている点にあります。広島市には、中国地方や四国地方を統括する国の出先機関が置かれ、経済面でも多くの企業がこの都市に支店を構えて地域全体のビジネスを管理しています。このように、広域的な管理機能を集中させることで、地域の中心地としての地位を確立しています。
問4	答え 4 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。	岡山県から四国側への自動車の移動時間が大幅に短縮されたのは、1988年の瀬戸大橋開通が最大の理由です。それ以前はフェリーによる海上輸送が中心であり、天候の影響を受けやすく時間もかかっていましたが、陸路（橋）で結ばれたことで24時間の安定した往来が可能となり、生活圏や経済圏が拡大しました。明石海峡大橋は兵庫県（神戸市）と淡路島を結ぶルートであるため、岡山県からの直接的な到達圏拡大の主因とは言えません。
問5	答え 2 なす	高知県は平地が少ないものの、高知平野を中心に温暖な気候を利用した野菜の生産が非常に盛んです。特になすの生産量は全国的にも上位で、四国地方の中では他県を圧倒する収穫量を誇っています。なお、みかんは愛媛県、小麦は香川県などで収穫量が多くなる傾向があります。
問6	答え 2 歴史的な背景に由来する鉄鋼業が、県全体の製造品出荷額において主要な産業の一つとなっている。	島根県の工業は、歴史的な「たたら製鉄」の流れを汲む鉄鋼業が大きな割合を占めている点が最大の特徴です。太平洋ベルトや阪神工業地帯といった大規模な重化学工業地帯とは立地条件が異なりますが、独自の技術力を背景にした産業が製造品出荷額の上位に食い込んでいます。他の選択肢は、阪神工業地帯や九州地方（シリコンアイランド）などの異なる地域の特徴を述べています。
問7	答え 2 北側：中国山地、南側：四国山地	瀬戸内海は、北側を本州の中国山地、南側を四国地方の四国山地に挟まれた地形的な特徴を持っています。中国山地はなだらかな山々が続くのが特徴であり、四国山地は険しい山地が連なっています。これら2つの山地の位置関係を把握することは、地域の気候や産業を理解する上での基礎となります。
問8	答え 4 他の品目と比較して、平均価格が高いだけでなく生産量も多いため、少ない労働時間で高い収益が期待できる点。	農業経営の改善においては、単に売上を伸ばすだけでなく、労働力に対してどれだけ効率的に収益を上げられるかが重要です。統計数値を比較すると、レモンはみかんや不知火といった他のかんきつ類に比べて、平均価格が高いだけでなく生産量も多いという特徴があります。さらに、栽培や管理にかかる労働時間がこれらよりも少ないため、単位時間あたりの収益性が非常に高くなり、農家の経営効率を大幅に高めることが可能になります。
問9	答え 2 一年を通じて各月の降水量が概ね100mm前後で推移し、他の地域に比べて年間の総降水量が少ない。	瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているため、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によって遮られます。その結果、湿った空気が入り込みにくくなり、年間を通じて晴天の日が多く、降水量が少なくなるという特徴があります。
問10	答え 2 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている	高知県の農業は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を最大限に活用している点が最大の特徴です。統計データにおいて、果実よりも野菜の産出額が圧倒的に多いのは、ピーマンやなすなどの促成栽培が極めて盛んであるためです。同じ四国地方でも、愛媛県などは果実（かんきつ類）の割合が高くなるため、統計上の違いに注意が必要です。
問11	答え 2 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから	瀬戸内工業地域は、波が穏やかな瀬戸内海の海上交通を活用できる利点があります。石油化学工業は、原料となる原油を海外からの輸入に頼っているため、大型船舶が直接接岸できる港湾施設を備えた臨海部が立地に最適です。このように、原料の受け入れから製品の出荷までを一貫して効率的に行うため、海に面した場所に工場が集まっています。